



写真:中嶋富士雄さん

「海遊館」で楽しもう!!

夏の暑さから逃れ、冷房の効いた海遊館で過ごすのも一考と思うのですが、如何でしょうか？

海遊館は紹介するまでも無く、日本を代表する水族館で、本州ではここでしか飼育されていないジンベエザメとマンタを観ることができる唯一の水族館です。

夕日のスポットとしても有名で、晴天の夕刻がお薦めです。

- ・アクセス 地下鉄中央線大阪港駅から徒歩5分
- ・開館 10時～20時
- ・入館料 大人2000円、小人900円、幼児400円

Page Guide

私の今日この頃

8ページ

200坪の家庭菜園や
地域ボランティアで奔走

守谷省三さん
(会員番号 5514)



晴耕雨読ならぬ晴耕雨暮の生活
大和三山が一望できる丘陵地帯
晴れた日はボランティア活動や
家庭菜園、雨の日は囲碁に興じる
今日この頃です。

- 東北「桜ライン311」支援ツアー報告 2ページ
- 東日本大震災から2年、「歩こう会」では復興に何らかのお役に立てればと陸前高田市の若者が立ち上げた「桜ライン311」を支援すべく現地に赴き、復興の現状を目で見て語り部さんから、お話を聞き思いを新たに…… 3ページ
- 第34回本部総会報告 4ページ
- 私と同好会の楽しい仲間たち 5ページ
- 詩吟同好会・天元会(囲碁同好会) 6ページ
- 健康第一シリーズ「熱中症」について 7ページ
- 野外行動時は十分な水分補給を
- 新入会員の紹介



カッコ良く生きたいネ!!



80歳にして、世界最高峰エベレストの登頂を果たした三浦雄一郎さん文字通り、世界最高齢でギネス認定間違いおまへんな!

計画時は無謀とも云える挑戦に娘が猛反対したが、説得して已むなく娘も父親の普段の努力や、今までの生き様を理解し、留守役事務局を引き受けたそうや。そこには同行した息子雄大、豪太と共に深い親子愛が覗え、微笑ましくも思えまん……今回の登頂を心より祝福したい!!

エベレストは、1953年英国隊のヒラリーとシェルパのテンジンによって初登頂され、今や日本人登頂者だけでも、初登頂の植村直己や女性初の田部井淳子、最年少登頂の野口健ら190人を超えており、今ではあまり話題や偉大な記録にもならないし、60年前のヒラリー初登頂時の装備、サポート体制更にはスポンサー等、比べようが無いほど進歩してまん。

ただ8000メートルを超える酸素濃度は今も同じで平地の1/3でしかなく、厳しさや険しさに違いは無い。

三浦雄一郎さんの登頂劇、生き様、カッコええと思いまへんか?

私達のセカンドライフとはかけ離れた話やが、夢を追い、やりたいことに対する姿勢、不断の努力、勇気をもって立ち向かう姿など、教えられる事が多くあり、感動を覚えるのは、小生だけではないと思うのですが……

私達も何かを求めて「カッコ良く生きたいネ」小さな夢に思いを馳せて。日本国民を代表して、老雄三浦雄一郎さんに「国民栄誉賞」を授与する!

“偉そうな事言いはんな 合掌”

— 酒楽一幸 —

「歩こう会」特別企画 東北「桜ライン311」支援ツアー 報告



2011年3月11日の東日本大震災と共に発生した大津波は死者・行方不明者18,000人を超える犠牲者を出した。三陸地方の市町村が壊滅する甚大な被害をもたらしました。

「歩こう会」では、何らかの支援をしたいとの想いでいたところ、震災を風化させない為に、陸前高田市の若者が立ち上げた、津波到達地点を結ぶ170kmに17万本の桜を植樹し、後世に伝え、被害者への哀悼と心の労いを与え、今後津波が襲来した時には、この桜ラインより上に避難する目印となる植樹活動をしている「桜ライン311」プロジェクトがあることを知りました。

私達はその考えに協賛し、現地に赴き、見て聞いて体験し、今後に役立てたいとの思いでツアー参加者を募集、参加できなかった方からも多くのご寄付を頂き、有志32名と行ってまいりました。



防災センター

●第一日目 (南三陸 4月17日)

南三陸では語り部(佐藤善司)さんに案内頂き、ガレキ処理が概ね終わった元町を訪れ、想像もつかない高さ(電柱の約2倍)の大津波であったのを見て・聞いて体験してきました。

「防災対策庁舎」で最後まで避難を呼び掛けていた40数名が、未曾有の津波(19m)に呑み込まれ、生存者は僅か8名だったと云う建物は鉄骨だけの無残な姿で残っていました。

庁舎の入り口付近には祭壇が置かれ、今も多くの花が供えられており、胸が熱くなる思いが致しました。

*すべて流された語り部の佐藤さんからお土産に頂いた教訓

- ① 避難する勇気を持つこと。(出来るだけ高い所へ)
- ② 生きるんだという強い信念を持つこと。
- ③ 決して諦めないこと。



●第二日目 (陸前高田 4月18日)

今回のツアーの目的地陸前高田市へ、途中の景色はTVでもよく見る索漠とした景色、気仙沼では道路に打ち上げられた遠洋マグロ船(800トン?)、山のようになり積まれ分別されたガレキ、津波でさらわれた街の殺伐とした風景、道路の高所に設けられている津波到達地点の標識等が各所にありました。

日本で駅から一番近い海水浴場の大谷海岸駅も松原は壊滅し、鉄道も廃線となっていました。

塩害で作付け出来ない田圃、まだまだ復興には、時間と労力がかかる風景でした。

峠を越え陸前高田市中心街へ、驚きました! 昔見た浜辺は、松林が延々と続く大変景色のよい所で



大谷海岸



したが何とそこには唯一本の松が残っているだけ。それは「奇跡の一本松」と云われ、震災のシンボルとして残すための修復中でした。



広大な町の中心部は大津波で完全に壊滅していました。そんな風景の中、今回の目的である震災を後世に伝える「桜ライン 311」プロジェクトに、多くの方々にもお願いしました協賛金を贈呈する為、高台に建つ浄土寺で、PJの代表 橋詰琢見さんに桜苗木 27 本分 ¥135,000 円を寄贈しました。(写真上)

陸前高田市にはシャープの専売店として古くから、大変頑張っておられ、店が流されてしまった高田シャープ電化センター(戸羽社長)があります。

参加者の一人からは是非ツアー

参加者全員の色紙に激励の寄せ書きを贈呈しては、との提案があり当日、浄土寺にお出で願い色紙を手渡しました。

何か少し良いことをした満足感に浸りながら、被災地を一時離れ世界遺産の中尊寺へ今回のツアーの無事と一日も早い復興を願い仙台へと向かいました。

夜は社友会東北支部との交流を深める夕食会を開催、中野支部長はじめ歩こう会代表含め 21 名のご参加を頂き、和やかな雰囲気です。最後に 53 名全員で復興を祈念し「花は咲く」を合唱、無事全行程終えることが出来ました。

● 終わりに

昔 陸前高田には先人達が大津波の被害に遭われ、その時の教訓として、これより下に住むな、上に建てよ、と言う標柱のようなものがあつたが風化されていました。

今回の「桜ライン 311」は 10 年後か何百年後まで、津波の教訓を後世に伝える為、桜並木より上に避難するラインを構築して、普段は観賞桜並木として人々を癒す役割を果たしてくれる、こんなプロジェクトを私達は応援しています。

歩こう会の皆様、ツアーに参加いただいた皆様、ご協力有難うございました。

森 尚夫 記

一 桜ライン 311 支援ツアーに参加して一

蛇草 實太郎

東日本大震災から 2 年、当時の状況は TV 新聞等で承知している積りであったが、今回のツアーで見た現地は、遥かに想像を超えたものであった。

東北の方々を幾らかでも励ます事ができればとの思いであったが、その災害の大きさ、すさまじい状況の被災地に圧倒された。

それに負けず復興に立ち向かう姿を目の当たりにし、恥かしながら、逆に日々の行動に頑張れと励まされている思いを強くした。

中でも、電子レンジの販売当初、共に苦勞をし、実績を上げて頂いた高田シャープ電化センターの戸羽社長と再会。震災で永年培ってきた 1000 軒を超えるお客様を失い絶望の淵に立ったが、皆が同じ境遇だと自分に言い聞かせ、ゼロからの再スタートではあったが、何とか目途らしいものが見えてきたそうです。

このお話を聞き、もっともっと私たちにできる事があるのではと考えさせられた次第です。

訪ねたみちのくの人たちを励まそうと歩こう会の有志 32 名のボランティア旅行ではあったが、この旅全体を振り返って、つたない川柳を一句まとめた。

“励ましの旅 みちのくに励まされ” 實太郎

辻 恵美子

「私達は、悔しいんです」その思いを同じくする人達が集まり、立ち上げたプロジェクト「桜ライン 311」ですが、支援ツアーに参加して、代表者橋詰琢見さんとお逢いしました。

ご自身も友人知人 50 人以上を亡くし「悲しい・悔しい」と当時の状況を話された事や、浄土寺から眺めた悲惨な街の現実、一同胸の詰まる思いが致しました。

陸前高田市の津波到達点全域に桜を植樹し、後世の人々に津波の恐れがある時には、その桜並木より上に避難するよう伝承していく活動ですが、17万本達成までには大変な年月・作業・費用が必要です。それに立ち向かうプロジェクト、私達も今回現場に行つて盛土から始まる街の復興等、結果を自身が少しでも多く見届けられるよう「健康で長生きしなきゃ」と目標も与えられ、大変意義のあるツアーに参加出来た事を女性一同感謝しています。



第34回「本部総会」開催

4月15日第34回本部総会が(214名参加)、“ホテルアウイナー大阪”で開催されました。

本部会員初め東北・栃木・東京・中部・広島・九州6支部の支部長も出席、来賓として大西専務、コーポレート統括本部 深堀執行役員、組合本部より津田中央執行委員長をお迎えし、平成24年度の事業報告並びに平成25年度の

事業計画の審議を行いました。

本部総会終了後、恒例の「昼食懇談会」を行い、和やかな懇親と次回も元気に再会を約し散会いたしました。

又、総会終了後、「支部長会議」を開催し会員への情報提供の効果的な対応策について検討を行い実施することを確認しました。



御手洗会長 挨拶

低迷していた日本経済もアベノミクスで円安、株高となり先行きが少し明るくなった。国のトップが代わり決めることを決めて目標をしっかり定めれば少し世の中が変わった。早く全社一丸となってこの危機を脱して、以前の輝きあるシャープになることを願う。

社友会は全国5,200名、本部3,200名と組織が大きくなり、同好会や社会貢献活動なども活発に行われているが、右記の内容を重点に取り組んで行く。

各々の活動への入会率は低く、更に多くの方々に参加願

い有意義なセカンドライフを謳歌して頂く為、入会率を高め 更なる発展を目指したいと思っている。

若い方々の参加と共に、大きくなった組織を如何に機能させて行くかも課題と考えている。この為、社友会活動を次の三つの分野で取り組んで行く考えである。

- ① 各種情報の提供を中心とする
「会員へのサービス支援」
- ② 多くの方々に参加頂く為の
「魅力ある同好会活動の取組み」
- ③ 会社と連携し、少しでも役立つ
「社会貢献活動の取組み」

これらの取組みにより、更なる発展並びに会員のみならず有意味なものとなるよう皆様のご支援をお願いします。



来賓代表挨拶

シャープ(株) 大西 専務

昨年、以下の経営改善を行い、一応の道筋をつけた。堺工場の操業の問題。多気工場は車載・スマホ向けへの取り組み。亀山第1工場並びに第2工場の操業、採算性の向上等。これらを背景に5/14中期計画発表時に数字を含め3ヶ年計画を明確に打ち出す。4/1付で組織変更を行った。

「プロダクト」、「デバイス」という2つのグループの下に責任を明確化、傘下に会社のすべてのリソースを集め意思決定の迅速化を図る。

一方本社組織の見直しを行い、小さな本社ではなく強い本社にしていくことで「再生と成長」に向けた"新たな"スタートを切る決意です。

これからもご支援をお願いします。

第34回 本部総会決議内容

下記の議案が提案され、何れも承認されました。

- 第一号議案 平成24年度事業報告
「シャープ供養廟」改修費用寄進に加え恒例の事業を実施。
- 第二号議案 平成25年度事業計画
各会員へのサービス活動、新会員の増加策並びに社会貢献活動の取組みの強化を図って行く。
又、「We Love SHARP」キャンペーンの積極的推進の実施。
- 第三号議案 平成24年度会計報告・会計監査報告
会計報告については公正であるとの結果が監査役から発表され承認された。
- 第四号議案 平成25年度予算計画
提案通り承認された。
- 報告事項
「H/Pリニューアル」「メール便」について、方針の報告があり承認された。

※「第34回本部総会」議案書などは、社友会事務所でご覧頂けます。



懇親会風景



支部長会議風景

私と同好会のたのしい仲間たち

●各同好会はいつでも体験見学ができますので、社友会事務局までお問い合わせ下さい。TEL06-6625-3171



詩吟同好会

辻野 功一さん
(会員番号 4071)



第33回岳玲会吟道大会

私が詩吟に出会ったのは20歳の時、寮の送別会で先輩が詩吟を詠った事がきっかけでした。歌謡曲でも民謡でもなく、初めて聞くものでした。

お腹の底から声を張り上げて詠う、健康的にも良いのではと思い、寮で詩吟クラブに入会しました。

「公益社団法人 日本詩吟学院認可 岳玲会」の先生が寮に来られ、寮生10数人を指導してくれました。

この会の別の支部に、社友会詩吟同好会のメンバーがいたのです。岳玲会の吟道大会、地区の大会等と一緒に吟道に励んでいました。

同好会の練習は毎月第2と第4の土曜日、10時から社友会事務所で行っています。

まずは発声練習を行い、半年の課題吟、担当者が決まっています、その日の担当者が指導しています。

課題吟は漢詩、和歌、俳句の中から、2題が決定しています。模範吟を聞き、まず全員で練習し、後は一人で吟じます。時間が残っていれば、その日の教本から1題自由に詠うようにしています。

詩吟にはその他に近代詩、俳諧歌、俳諧紀行文、長唄等があります。同好会のメンバーには、生徒を指導されている先生も数人います。

現在、私は同好会、岳玲会、河内長野市及び堺市の連盟に入会し、活動しています。

河内長野市では、5月に観心寺において「楠公祭」で、詩吟の奉納吟詠大会、文化祭に参加、堺市では12月に競吟大会に参加するなど、他の詩吟団体との交流を行っています。



天元会 (囲碁同好会)

中西 順一さん
(会員番号 307)



私は1989年に定年退職し、退職後は悠々自適の生活を夢みておりました。

社友会入会と同時に趣味の活かせるゴルフや囲碁の同好会に入会し、現在囲碁同好会(天元会)の世話役幹事をさせて頂いております。

当初は囲碁と将棋が一つの同好会で運営されていましたが、会員が増加したことで、1995年に別々の運営となり、1999年より、私が幹事を引き継ぎました。

当時は会員もまだ若かった？こともあり信貴山観光ホテルで一泊の遠征囲碁大会など開催した事もあり、良き思い出となっています。

簡単に言えば囲碁のすばらしさは、碁盤上の陣とりゲームで持ち石は何処に打っても良い、好きな所に打てることです。初心者でも入り易いゲームだと思っています。分つて来れば来るほど難しくなるのも囲碁の面白さです。陣取り作戦が当たり、相手の悲鳴を聞いた時など、気分爽快となり、嵌まってしまうのが、囲碁と云うゲームです。

例会は毎月第一日曜日と第三土曜日に社友会事務所にて、12:30~17:00まで開催しています。

会員の皆様の黙々と対局される姿は真剣そのものです。時々「マイッタ」「アレ～目が無い」「アンタは

殺し屋か」とか色々な悲鳴の声が聞こえたり、爆笑したり、見ているだけでも面白いです。

対局結果は記録し、前期(2~6月)と後期(7~11月)に分け勝率により、優勝者を決定し、表彰(盾の授与)しております。

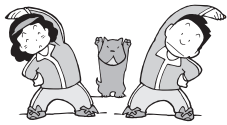
私も平成21年の前期に優勝した実績がありますが、それっきりで未だ優勝なしで、皆さんの上達振りが窺えます。

棋力上達振りを計るのに、各自点数カードを持っており、対局結果を記録し、(勝=+1.負=-1)合計点数100になると初段資格ありと評価します。この100点を基準にして、14点間隔で棋力を決定します。

従ってハンデーが確立している為、対局もスムーズに進みます。

会員は和気藹々と楽しく過ごされています。ここに女性の会員さんが居ればもっと楽しく、華やかになると思うのですが！！

※ 現在会員募集中、女性の方も大歓迎です
気軽に応募下さい。



健康第一シリーズ(第10回)『熱中症について』

年齢を重ねるごとに「健康への不安」が生じてきます。これに立ち向かうために耳寄り情報等をシリーズで掲載します。

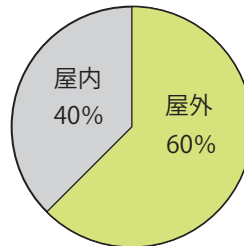
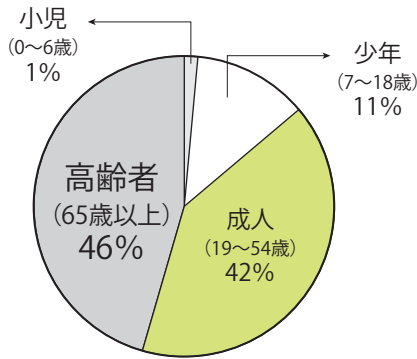
今年の夏は猛暑との予報もあります。この夏も夏バテや熱中症予防に心がけ乗り切りましょう。

夏バテは、睡眠不足や疲労が原因で、冷房の温度調節や、栄養バランスの対応により、予防が可能です。

熱中症は高温環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体内の調整機能が破綻し発症します。頭痛・めまい・吐き気、筋肉がつる等の症状は、危険信号。30℃を超える真夏日のゴルフや野外行動には十分な注意が必要です。

熱中症の現状

※ 熱中症患者のおおよそ半数は高齢者(65歳以上)です。
※ 熱中症は、室内でも多く発生しています。(夜も注意が必要です)



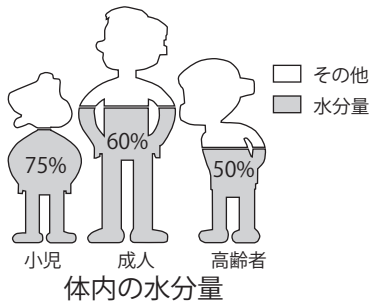
	東京都 (東京都2010年)	
	全患者数	夜間の患者数
小児	1500	127
成年	1099	98
高齢者	2080	188
累計	4679	413

※夜間は21時~6時

熱中症の発生場所 (さいたま市2010年)

夜間の熱中症患者数

熱中症患者の世代別



高齢者は特に注意が必要です

- ① 体内の水分が不足しがちです。
高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。
- ② 暑さに対する感覚機能が低下しています。
加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。
- ③ 暑さに対する体の調節機能が低下します。
高齢者は体に熱がたまりやすく、暑いときには若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。
※心臓や腎臓の悪い方や持病をお持ちの方は、かかりつけの医者にご相談ください。

予防できているかチェックしましょう

<input type="checkbox"/> こまめに水分補給をしている	<input type="checkbox"/> エアコン・扇風機を上手に使用している	<input type="checkbox"/> シャワーやタオルで体をひやす	<input type="checkbox"/> 部屋の温度を測っている	<input type="checkbox"/> 暑い時は無理をしない
<input type="checkbox"/> 涼しい服装をしている 外出時には帽子・日傘	<input type="checkbox"/> 部屋の風通しを良くしている	<input type="checkbox"/> 緊急時・困った時の連絡先を確認している	<input type="checkbox"/> 涼しい場所・施設を利用している	

熱中症対策グッズのいろいろ

いろいろな熱中症対策グッズが売られています。これらを活用するのもいいでしょう。

--	--	--	--	--	--	--	--

※このページは、環境省「熱中症」情報に関するホームページ・熱中症対策グッズホームページ他を参考に編集しています。



社友会新入会員

2013年3月1日～2013年5月31日

同好会へのご入会をどうぞ!

所属	No.	氏名	所属	No.	氏名	所属	No.	氏名	所属	No.	氏名
	6109	楠村 幸司	東京	6124	滝沢 寛治		6139	橋本 理		6154	吉田 裕一
	6110	沢辺 宇一郎	中部	6125	三上 久美雄		6140	黒瀬 光枝		6155	松山 晃
	6111	大橋 勲	広島	6126	山本 正志		6141	吉井 正治	栃木	6156	藤田 桂一
	6112	端坊 辰彦	広島	6127	梅田 啓二	東北	6142	田村 誠蔵	東京	6157	本田 博和
	6113	中山 和博	広島	6128	三宅 秀幸	東北	6143	藤森 寛仁	九州	6158	徳永 直樹
	6114	森本 和己	広島	6129	俵 直大	栃木	6144	磯島 和美	九州	6159	高原 政人
	6115	中山 一義	広島	6130	石濱 晃	東京	6145	吉岡 勉		6160	杉江 優
	6116	森本 彰夫	広島	6131	右手 里子	中部	6146	織田 修		6161	吉川 雅清
	6117	永井 朗	広島	6132	岡田 良雄	広島	6147	藤澤 秀樹		6162	大西 理己
	6118	峰松 孝光	広島	6133	柳生 博	九州	6148	斉藤 千年	東北	6163	斎野 一彦
	6119	孝橋 生郎	広島	6134	山下 卓治		6149	北山 善彦	広島	6164	堀本 昌英
東北	6120	斉藤 鉄治	九州	6135	弓削 正道		6150	光門 良雄		6165	田中 淳志
東北	6121	小川 一夫		6136	北垣内 廣士		6151	東司 敬一		6166	島本 栄司
東北	6122	吉成 貞夫		6137	向井 賢次		6152	森本 弘		6167	西 康友
東京	6123	山下 信		6138	富田 哲之		6153	米虫 徳起	(所属の空白は本部会員)		

積乱雲 青空に描く 夏日より



作絵がみクラブ 志葉 武さん

暑中お見舞い申し上げます

シャープ社友会

広島支部 山本支部長 平成25年春の叙勲で「旭日小授章」受賞



叙勲は、広島県で旭日小授賞4人という荣誉あるものです。これは15年前受けた藍授褒章に続く2度目となります。

受賞は、東広島市の市議員8期と永年にわたり、市政に携われ、大きな功績を上げられた事が評価されただけでなく、その人柄等も素晴らしいものがあったと思われます。

5月14日 皇居でご夫婦揃われ天皇陛下に拝謁、記念写真の後、目出度く受賞されました。

社友会としても大変おめでたく荣誉あるものと思います。

ご報告いたしますと共に、お祝い申し上げます。

編集室から

♣ 日頃病院に通っているので、タクシーをよく使う。K社の車には運転手の背面に「忘れ物ベスト③」と云う掲示がある。

①ケータイ ②傘 ③鍵 とある。

♠ お互いに、もの忘れなら誰にも負けない齡……猛暑のおり、ご用心 ご用心。

表紙「ブラリ出かけよう」の写真を募集しています。詳しくは8月の社友会ホームページをご覧ください。採用分には薄謝進呈。

◎あなたの身近なニュースを送ってください。

◎送り先……シャープ(株) CSG気付

シャープ社友会 会報編集室

☎ 06-6625-3171(直通)

ご冥福をお祈りします

平成25年3月1日～平成25年5月31日 敬称略

所属	会員番号	お名前	享年	ご逝去日
広島	4611	森川 秀夫	64	平成25年3月4日
東京	1046	山垣 節夫	76	平成25年3月9日
	192	松村 純一郎	87	平成25年3月10日
	1262	若狭谷 好一	79	平成25年3月21日
	156	園部 兼次	95	平成25年3月22日
	455	西藤 清之夫	79	平成25年4月9日
	627	中矢 智浩	81	平成25年4月22日
	773	岡田 吉治郎	78	平成25年5月6日
	1320	高津 忠司	75	平成25年5月16日
	3080	飯島 幸雄	69	平成25年5月23日

私の今日の頃



守谷 省三さん

(会員番号 5514)

晴耕雨碁の生活です

ボランティア・囲碁・菜園の日々を楽しんでいます



大和三山を望む

■はじめに

社友会に入会して2年弱になりますが、現役時代には自身でも想像できなかった晴耕雨読ならぬ、晴耕雨碁の生活。晴れた日はボランティア活動や家庭菜園で体を動かし、雨の日などは趣味の囲碁に興じる楽しい生活をしている今日この頃です。

以下にその一端を紹介させていただきます

■しだれ桜保存会でのボランティア活動

私が住む奈良県葛城市兵家は、大和三山が一望にできる丘陵地帯に位置し、住宅地西側の山稜公園には、しだれ桜(観賞用糸桜)が多数植えられています。

兵家しだれ桜保存会はこのしだれ桜を生育・管理することを目的に約20年前に設立され、20数名の会員から成るボランティア団体です。

私の当保存会との関わりは、設立当初から会員として参画し、4年前から会長を務めております。

保存会での活動内容は、施肥、剪定、補植時の土壌殺菌・植樹及び、会員相互の親睦を目的とする行事です。

直近の事業では、平成24年度の奈良県緑化推進協会の「みんなの森・里山整備事業」の認定を受け、その交付金で苗木等を購入し、桜16本を植樹しました。

保存会の活動を通して感じることは次の2つです。

- ・地域ボランティア活動に対して、戦前派は総じて積極的に参画されましたが、これからは我ら団塊世代以降の若い方々が支えていくことが求められます。
- ・保存会活動は、会員・自治会・地元住区・市役所・県出先機関・公園利用者等、多くの方々や機関と関わりと共に、協力頂いている事に感謝しています。



しだれ桜保存会での植樹作業

■囲碁三昧

数十年前は八尾事業所の囲碁クラブに席を置き、藤井寺スポーツセンターの囲碁教室に通っていた昔懐かしい時代もありました。

十数年前からは葛城市囲碁クラブに活動の場を移し、

囲碁を指しています。(現在の段位は4段)

囲碁との関わりは幼少期に祖父から「生涯楽しめる高尚な趣味」と教わったのですが、今まさに趣味を活かせる年齢になったと思っています。

囲碁は、心を通じあえる碁(ゴガタキ)として付き合えることが楽しく有意義ですので、これからも棋力向上に精進を重ねようと決意しています。



■家庭菜園

5年前の現役時代に近所の方に勧められて、週末限定の野菜作りを細々と始めました。(約40坪)

2年前の秋に、これまでの狭い場所では時間を持て余すだろうとの思いから休耕田、約1反の荒地を借り、雑草と格闘し、4坪程の作業小屋を建てました。

昨年の春に今の菜園を完成させました。現在は野菜：約150坪(30数品種)、果樹：約50坪(5品種)の栽培を行っています。

収穫した野菜は子供の家や親戚宅・ご近所の方々に食べて貰う為に、当農園営業部長の妻が配っています。野菜作りを通して感じていることは、次の2つです。

- ・孫たちに食べさせられる「食の安全安心」は、自家製が第一
- ・旬の野菜は容易に作れるものの、年間を通した自給自足の難しさを痛感しています。



家庭菜園の自作作業小屋前にて

■終わりに

懐かしい方々との再会時に驚きと感動を与えられる様、楽観主義で何事にもポジティブに生きようと考え、これからも私自身の挑戦を重ねる所存です。